



NOK株式会社鳥取事業場

鳥取ビブラコースティック株式会社

町内にあるのに、どんな製品を作って、どんな仕事をしているのか、普段知る機会の少ない町内企業の活動・製品を紹介します。

NOK株式会社は自動車部品と情報通信機器関係を中心に各種部品を製造・販売しているメーカーで、東証一部上場企業でもあります。

鳥取事業場は、NOKの防振・防音製品の研究開発施設として平成10年に南部町（旧西伯町）に開設されましたが、平成16年には神奈川県藤沢市にあった生産基体を整理・統合し、防振・防音製品に関する技術・生産も含めた統括部門となりました。

事業場内には、無響室、残響室、ロードシミュレーター装置などの実験設備が備え付けてあり、振動・騒音の測定や解析が行われており、ここで開発された製品は、隣接する鳥取ビブラコースティック株式会社と中国・無錫にある子会社で生産されています。

鳥取ビブラコースティック株式会社（略称TVC）は、NOKの生産子会社として平成元年に設立されました（当時の社名は鳥取メグラストイック）。その後、事業規模の拡大を行い、平成16年にはNOK藤沢工場の廃止により生産ラインがTVCに集約され、今では防振・防音製品に関してNOK唯一の国内生産拠点となっています。

社名の中の聞き慣れない「ビブラコースティック」という単語は、

「バイブレーション（振動）」と「アコースティック（音響）」を足した造語で、音と振動にかかわる製品を取扱っているという意味を現したものです。

TVCの従業員は、4割が南部町から通勤しています。勤務形態は事務・技術部門が朝から夕方までの普通勤務、最も多くの従業員が従事している製造部門は、早朝から昼過ぎまでと、昼過ぎから深夜までの2交代制の勤務で、部署によっては3交代制をとっています。

NOK鳥取事業場並びにTVCの主力商品は自動車用防振ゴム製品のトーションバルダンパーです。この製品は自動車の心臓部であるエンジンの先端に取り付けられ、高速で回転するシャフトの振動や騒音を抑え、快適な乗り心地と、自動車の静粛な走行のためにはなくてはならない部品です。自動車用トーションバルダンパー市場では、国内シェアの6割を占め、大手自動車メーカーすべてに出荷され、様々な自動車に使用されています。

自動車の中に使われている部品です。私たちが直接製品を購入する機会はありませんが、日頃乗りなれた車に実は南部町で開発された技術、生産された部品が使用されているのです。

鳥取ビブラコースティック株式会社



所在地	南部町原938-2（原工業団地）
設立	平成元年9月
従業員数	241名（平均年齢31.6歳）

NOK株式会社鳥取事業場



所在地	南部町原1000（原工業団地）
設立	平成10年9月
従業員数	83名（平均年齢39.2歳）